

2023年度 第3四半期 決算説明資料

2024年2月9日
日本製紙株式会社



 木とともに未来を拓く

連結損益概要

(億円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	8,494	8,745	251	3.0%
営業利益	▲228	93	321	—
経常利益	▲195	76	271	—
当期純利益*	▲257	▲83	174	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、価格修正の効果発現などにより、前年同期比で増収。
- 営業利益は、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 特別損益は、政策保有株式などの売却に伴う投資有価証券売却益や、Opalのグラフィック用紙事業撤退損を計上。

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比
紙・板紙	4,162	4,306	144	▲220	81	301
生活関連	3,285	3,285	0	▲66	▲60	6
エネルギー	322	392	70	▲22	▲3	19
木材・建材・ 土木建設関連	508	538	30	63	67	4
その他	217	224	7	17	8	▲9
合計	8,494	8,745	251	▲228	93	321

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	612	484	—	128	—
原燃料価格	▲173	▲120	チップ ▲59、古紙 8、パルプ ▲3、重油 ▲7、 石炭 15、LNG 12、薬品他 ▲86 (価格影響 ▲29、為替影響 ▲91)	▲53	パルプ ▲19、チップ ▲6、 薬品他 ▲28
コストダウン等	67	61	原価改善 21、秋田・石巻停機影響 10、 労務費 21、その他 9	6	—
その他	▲199	▲124	海外事業 ▲24、減価償却 23、退職給付費用 11、 受払影響ほか ▲134	▲75	海外事業 ▲55、 受払影響ほか ▲20
合計	307	301	国内 325、海外 ▲24	6	国内 61、海外 ▲55
その他事業	14	エネルギー 19、木建土 4、その他 ▲9			
営業利益	321				
営業外損益	▲50	金融収支 ▲17、持分法投資損益 ▲21、為替差額 ▲1、その他 ▲11			
経常利益	271				

紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比
4,162	4,306	144	▲220	81	301

- 国内
 - ・洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
 - ・チップや薬品など原燃料価格の上昇による影響はあるものの、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 海外
 - ・十條サーマル(JTOy)は、欧州における感熱紙の需要が低調に推移したことと、原燃料価格上昇により、営業利益は赤字となった。

生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益			
	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比	
国内	1,452	1,603	151	▲7	54	61	パッケージ 34、ケミカル ▲9 家庭紙・ヘルスケア 36
海外	1,833	1,682	▲151	▲59	▲114	▲55	Opal ▲55、NDP ▲1、TSP 1
合計	3,285	3,285	0	▲66	▲60	6	

- 国内
 - ・ヘルスケア製品などの販売数量は増加。
 - ・機能性フィルムやティシューペーパー、液体用紙容器などの販売数量は減少。
 - ・原燃料価格高騰の影響はあったものの、製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
 - ・Opalは、グラフィック用紙事業の撤退に伴う販売数量の減少などにより、前年同期比で減収減益となった。
 - ・日本ダイナウェーブパッケージング(NDP)は、製品の価格修正が寄与したものの、販売数量の減少などにより、減収減益となった。

エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比
322	392	70	▲22	▲3	19

・勇払エネルギーセンターが営業運転を開始したことなどにより、増収増益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年 同期比
508	538	30	63	67	4

・新設住宅着工戸数が減少し、原木や建材品などの販売数量は前年同期を下回ったものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収増益となった。

連結損益概要

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 修正予想	2023年度 前回予想	増減額
売上高	11,526	11,700	12,300	▲600
営業利益	▲269	190	240	▲50
経常利益	▲245	150	180	▲30
当期純利益*	▲504	150	150	0

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■第3四半期までの業績および直近の状況を踏まえ、予想を見直し。

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 修正予想	前年 同期比	2022年度 実績	2023年度 修正予想	前年 同期比
紙・板紙	5,632	5,700	68	▲292	145	437
生活関連	4,401	4,420	19	▲78	▲85	▲7
エネルギー	499	540	41	▲17	15	32
木材・建材・ 土木建設関連	689	730	41	89	95	6
その他	305	310	5	29	20	▲9
合計	11,526	11,700	174	▲269	190	459

主要な前提条件

■国内販売数量(対前年)

	下期	通期	(前回予想)	
			下期	通期
新聞用紙	▲12%	▲11%	▲13%	▲11%
印刷用紙	▲19%	▲16%	▲12%	▲12%
情報用紙	▲6%	▲7%	▲4%	▲5%
段原紙	▲3%	▲4%	▲2%	▲4%

■主要原材料価格、為替

	第4四半期	前回予想(下期)
為替(米ドル)	145円/ドル	150円/ドル
為替感応度	前回予想から変更なし	米ドル1円円高で+9億円/年
石炭	前回予想から変更なし	現状の調達計画を勘案 (豪州炭ベンチマーク価格:200ドル/t)
原油	前回予想から変更なし	85ドル/バレル(ドバイ)
古紙	前回予想から変更なし	足元の価格動向を勘案

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	702	542	—	160	—
原燃料価格	▲81	▲19	チップ ▲57、古紙 21、パルプ ▲4、 重油 ▲8、石炭 96、LNG 21、薬品他 ▲88 (価格影響 109、為替影響 ▲128)	▲62	チップ▲6、パルプ ▲19、 薬品他 ▲37
コストダウン等	77	71	原価改善 38、秋田・石巻停機影響 10、 労務費 16、その他 7	6	—
その他	▲268	▲157	海外事業 ▲19、減価償却 29、退職給付費用 15、 受払影響ほか ▲182	▲111	海外事業 ▲87、 受払影響ほか ▲24
合計	430	437	国内 456、海外 ▲19	▲7	国内 80、海外 ▲87
その他事業	29	エネルギー 32、木建土 6、その他 ▲9			
営業利益	459	国内：パッケージ 29、ケミカル ▲2、 家庭紙・ヘルスケア 53 海外：Opal ▲57、NDP ▲31、TSP 1			

参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

セグメント別概要

(億円)

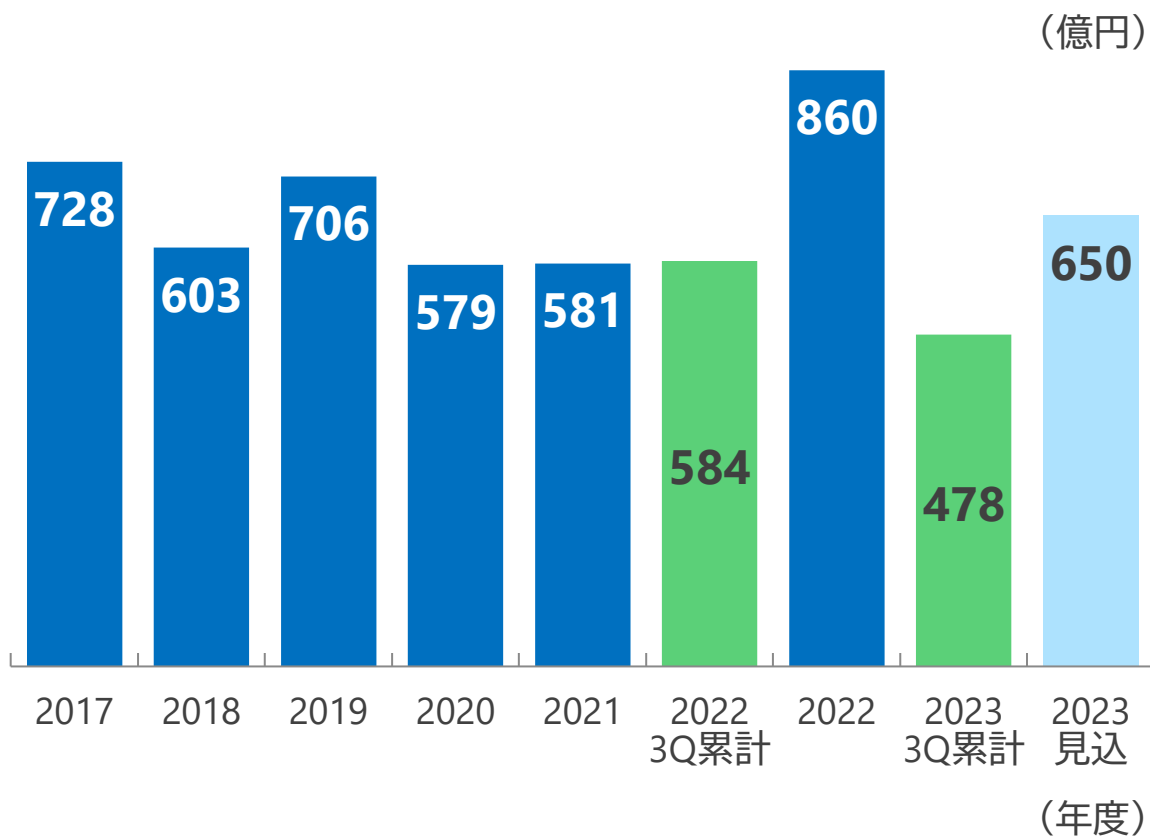
	売上高			営業利益		
	2023年度 前回予想	2023年度 修正予想	増減額	2023年度 前回予想	2023年度 修正予想	増減額
紙・板紙	6,060	5,700	▲360	160	145	▲15
生活関連	4,500	4,420	▲80	▲50	▲85	▲35
エネルギー	680	540	▲140	15	15	0
木材・建材・ 土木建設関連	750	730	▲20	85	95	10
その他	310	310	0	30	20	▲10
合計	12,300	11,700	▲600	240	190	▲50

(千t)

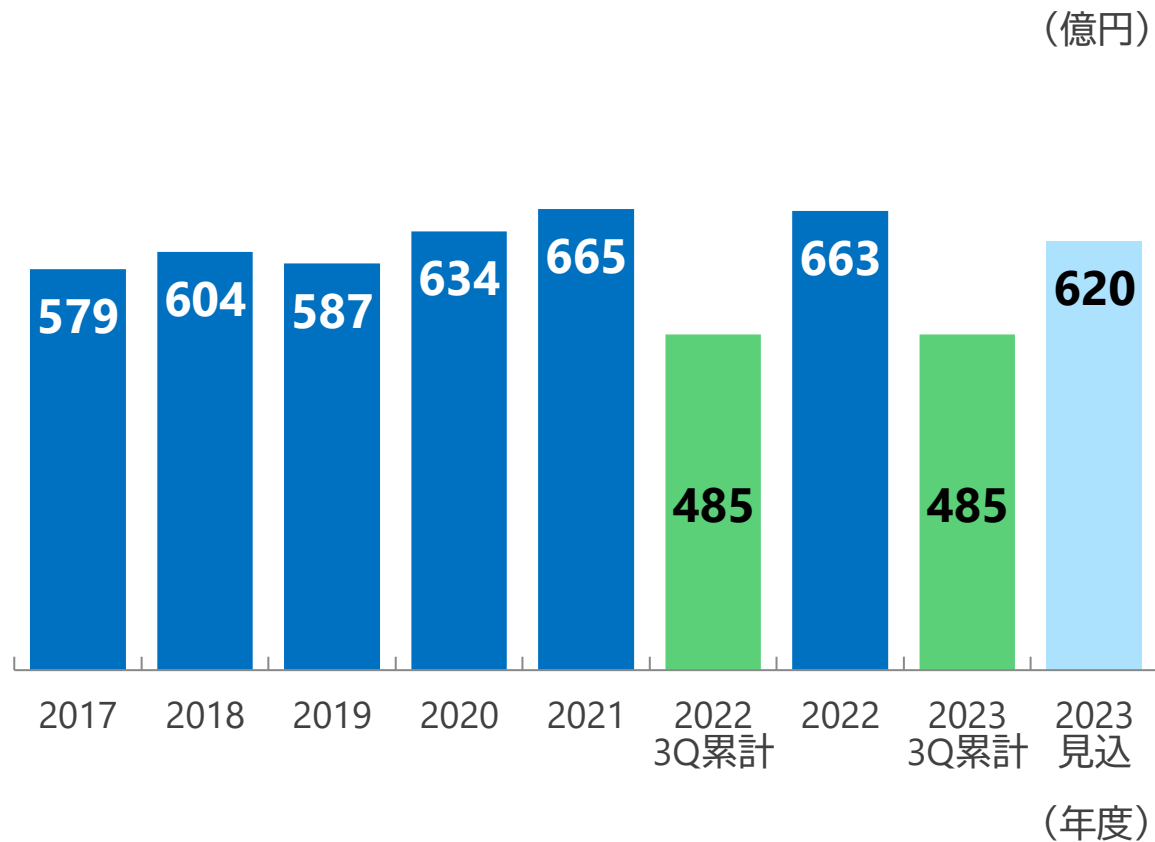
	2022年度 1Q-3Q累計	2023年度 1Q-3Q累計	対2022
新聞用紙	455	406	▲10.8%
印刷用紙	803	695	▲13.4%
情報用紙	305	285	▲6.4%
その他	239	217	▲9.5%
国内	1,803	1,604	▲11.0%
輸出	171	133	▲22.3%
洋紙 合計	1,973	1,736	▲12.0%
段ボール原紙	1,240	1,179	▲4.9%
紙器用板紙他	247	242	▲2.0%
国内	1,487	1,421	▲4.4%
輸出	123	87	▲29.4%
板紙 合計	1,610	1,507	▲6.3%
洋紙・板紙 合計	3,583	3,244	▲9.5%

*日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

設備投資額*



減価償却費



*建仮計上ベース

(億円)

	2023年度			上期実績	2023年度	
	1Q	2Q	3Q		下期予想	通期予想
紙・板紙	1,433	1,431	1,442	2,864	2,836	5,700
生活関連	1,068	1,117	1,100	2,185	2,235	4,420
エネルギー	137	146	109	283	257	540
木材・建材・ 土木建設関連	167	195	176	362	368	730
その他	69	76	79	145	165	310
合計	2,874	2,965	2,906	5,839	5,861	11,700



セグメント別 営業利益推移

(億円)

	2023年度			上期実績	2023年度	
	1Q	2Q	3Q		下期予想	通期予想
紙・板紙	2	37	42	39	106	145
生活関連	▲23	▲27	▲10	▲50	▲35	▲85
エネルギー	5	▲3	▲5	2	13	15
木材・建材・ 土木建設関連	23	29	15	52	43	95
その他	1	5	2	6	14	20
合計	8	41	44	49	141	190

紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2023年度 第3四半期)

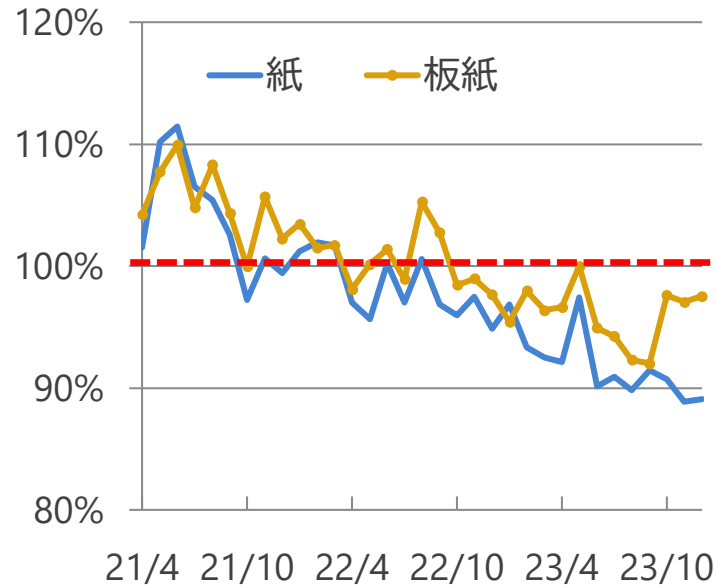
(千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2022	数量	対2022	数量	対2022
新聞用紙	1,238	▲10.6%	0	—	1	39.0%
印刷・情報用紙	3,668	▲10.1%	356	▲8.8%	388	0.5%
塗工印刷用紙*	1,952	▲10.6%	269	▲6.8%	83	70.1%
非塗工印刷用紙	958	▲11.4%	68	▲18.1%	8	▲36.8%
情報用紙	757	▲6.9%	18	2.4%	297	▲8.6%
その他	2,221	▲5.6%	177	▲15.8%	30	▲22.3%
紙 合計	7,127	▲8.8%	533	▲11.2%	420	▲1.6%
段ボール原紙	6,646	▲4.1%	569	▲18.9%	16	▲48.7%
紙器用板紙他	1,505	▲5.0%	30	▲19.6%	160	▲15.5%
板紙 合計	8,151	▲4.2%	600	▲19.0%	176	▲20.3%
紙・板紙合計	15,278	▲6.4%	1,132	▲15.5%	595	▲8.0%

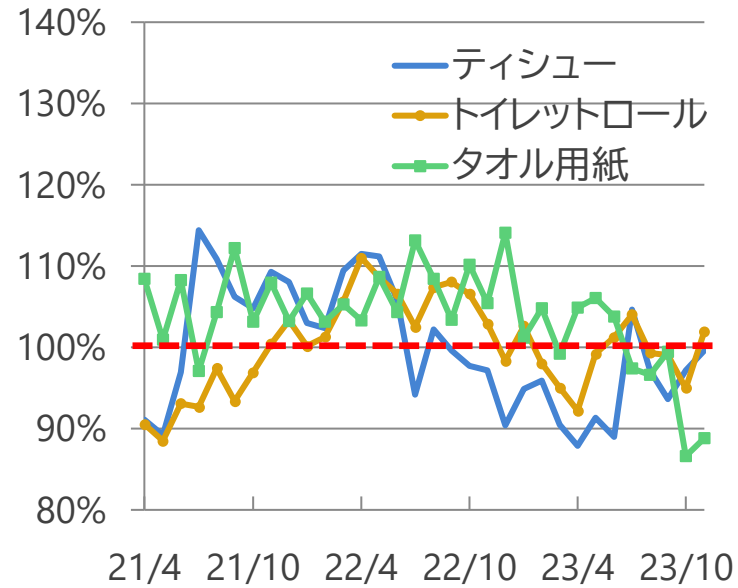
*塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

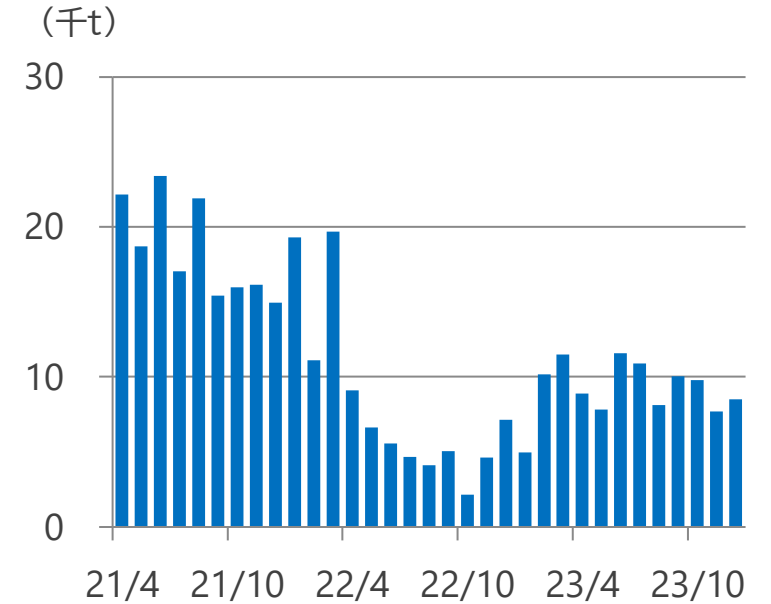
メーカー国内出荷量(対前年)



衛生用紙生産高(対前年)

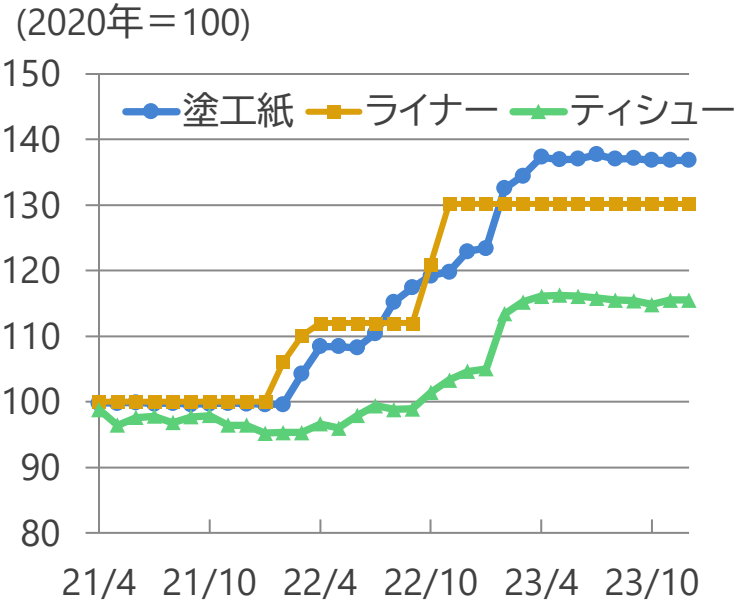


塗工紙輸入推移

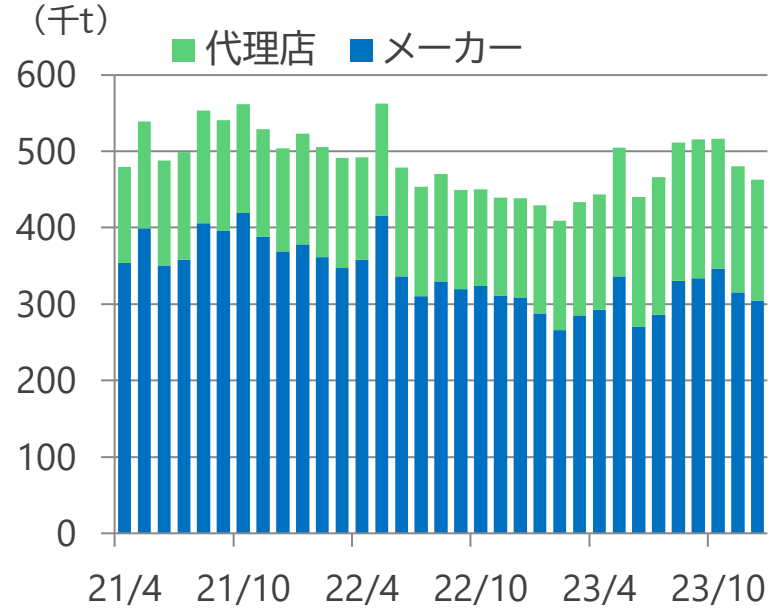


出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

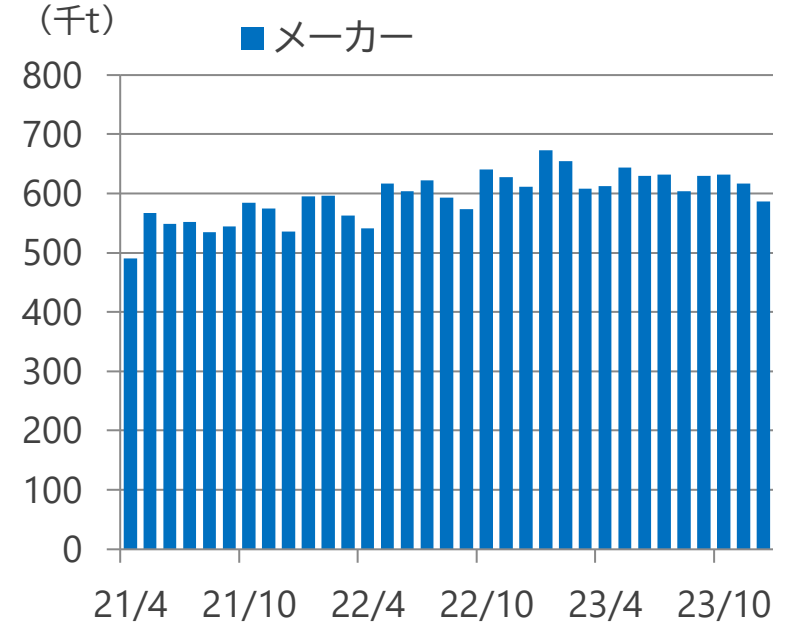
品種別価格動向



塗工紙在庫高推移

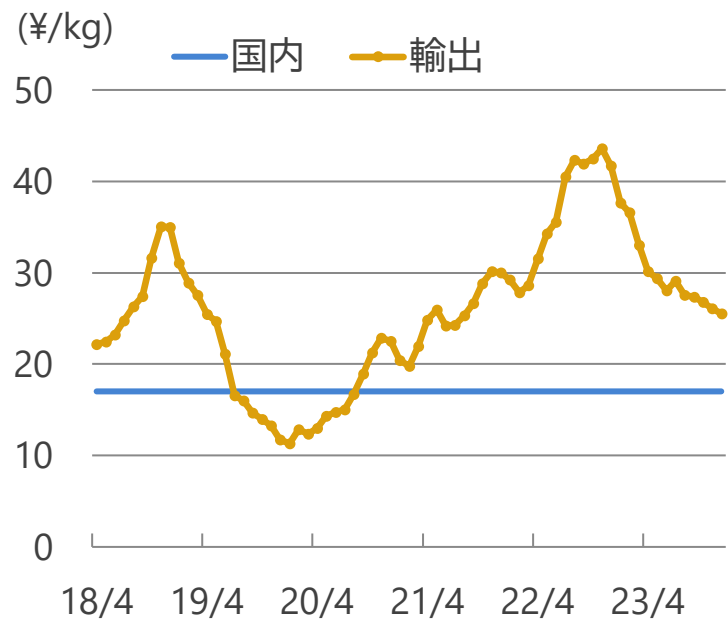


段原紙在庫高推移

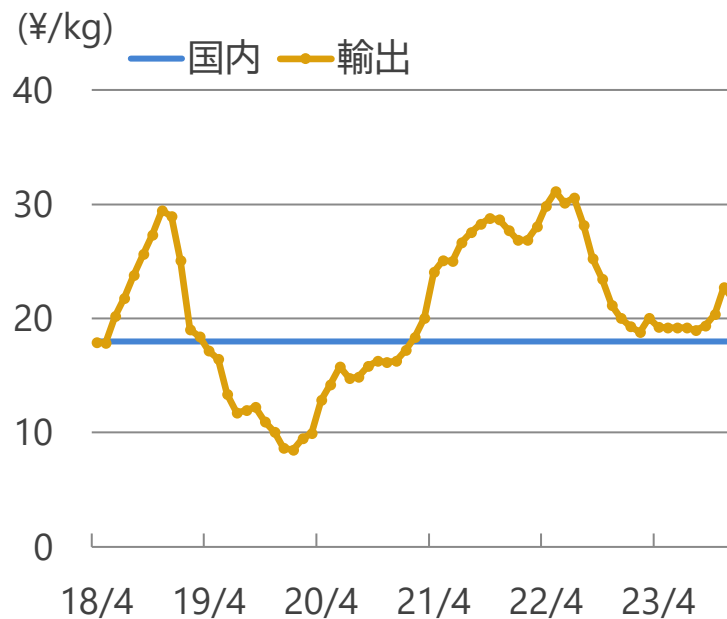


出所: 日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

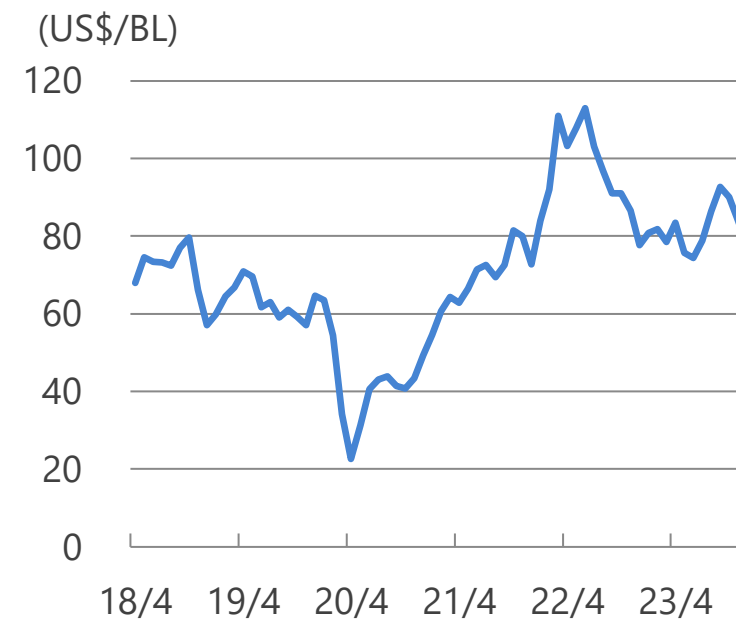
新聞古紙



段ボール古紙



原油



出所:古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社